

場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集			
原子炉建屋内	RB	Z	5			1	時間
タービン建屋内	TB					2	距離
R ZONE	R					3	遮へい
Y ZONE	Y					4	線源の除去
G ZONE	G					5	遠隔、ロボット化
その他	Z					6	汚染拡大防止
(R $\alpha$ )						7	その他
				番号	03-01		

内 容	3号機R/B南側ガレキ撤去工事における被ばく低減のための遠隔操作			
作業場所	3号機R/B南側付近			
概 略	ガレキ撤去作業において、高線量エリア下での作業となるため、可能な限り被ばく低減策を計画し、カメラによるモニタ監視、無人重機によるガレキ撤去、ガレキ切断の自動化を図った。			
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	6,490	1,930
		人工数(人日)	17,472	16,794
事例詳細				

#### ■工法改善による被ばく低減

高線量下での作業となるため、作業者の立入を極力減らすために、ガレキ切断装置までの移設作業及びガレキ切断作業を遠隔操作で行うことにより、被ばく線量を低減した。

➤ 作業エリア空間線量率

作業エリア :約 1.3mSv/h

遠隔操作室 :約 **0.01mSv/h**

➤ 被ばく低減効果

対策前 :約 6,490 人・mSv

対策後 :約 1,930 人・mSv

**低減効果:約 4,560 人・mSv**

遠隔操作室  
(モニター室)



遠隔操作重機  
(PC450)



遠隔操作切断機  
(ワイヤーソー)

